

震災に備えて・・・

毎日暑い日が続きます。みなさんの体調はいかがでしょう。

熊本では、震度7の地震で大きな被害を受け、酷暑の中で電気や水のない不自由な生活を送ってられます。10年前の被災時と違って、今回は熱中症という敵とも戦わなくてはならず、想像を絶するストレスを感じながらも耐えておられると思うと、本当に心が痛みます。

地震大国の日本では、すでにどこで起きてもおかしくない状況にあります。もし、自分の住んでいる地域が大地震に見舞われたらどうでしょう。家が崩れ、道路が寸断され、水や電気が止まってしまったら・・・自然災害の少ない奈良県民にとっては実感しにくいことかもしれませんが、もしもに備えて以下のことに心がけましょう。

- ① 家具の固定・・・特に、寝室にタンスなど置かないようにしましょう。
- ② 避難袋の準備・・・非常食、水、着替え、薬、コンタクトなど個人によって中身は違います。
- ③ 避難場所の確認・・・家族がバラバラになったときに待ち合わせる場所を決めておきましょう。 など

被災したときに心の支えになるのは、人と人のつながり。たすけあいです。苦しい時こそ、互いに支え合うやさしさが大きな力になります。日ごろから、地域の人やこども園の人たちと元気にあいさつをしたり、なかよく過ごしたりするコミュニケーション力をつけておきましょう。

大切なことは、人と人とのつながり、たすけあい

小学校に入るまでにつけるべきは「よみかきの力」???

この時期に「思い切り遊ぶ」ことは、人間力の育成につながります。

幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿

